

- 大規模氾濫による被害の軽減に資する取組を総合的かつ一体的に推進することや、あらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる流域治水を計画的に推進するため、「天塩川下流減災対策協議会」と「天塩川下流流域治水協議会」を合同開催しました。
- 今回で第11回目となる協議会では、令和7年度に実施した各機関の取組の実施状況や減災に関する取組方針の改訂案を共有し、引き続き関係機関が連携して取組を推進していくことを確認すると共に、国が進める施策や支援事業などについて情報共有しました。

■ 日時: 令和8年2月25日(水) 13:30~15:00

■ 場所: 天塩町社会福祉会館 (WEB併用)

■ 参加機関: 3町13機関

天塩町、豊富町、幌延町、留萌開発建設部、留萌振興局、宗谷総合振興局
 旭川地方気象台、稚内地方気象台、留萌北部森林管理署、宗谷森林管理署
 稚内地区消防事務組合、陸上自衛隊(留萌駐屯地、名寄駐屯地)
 北海道警察(旭川方面本部、天塩警察署)、北海道旅客鉄道株式会社

■ 主な議事

1. 協議会の経緯・目的
 - ・両協議会の設置経緯と目的について説明した。
2. 令和7年8月豪雨の概要・被災状況
 - ・令和7年8月豪雨の概要と被災状況を共有した。
3. 取組の実施状況
 - ・各機関から、今年度の取組内容を報告した。
4. 減災に関する取組方針(改訂案)
 - ・令和8年度からの減災の取組方針(改訂案)について説明した。
5. 意見交換
 - ・各機関の取組状況や今後の取組方針などについて意見交換した。
6. 今後の予定、進め方
 - ・次年度の協議会に関わる実施スケジュールを確認した。
7. 情報提供
 - ・国が進める施策や支援事業などについて情報共有した。



天塩町 副町長(代理)



豊富町長



幌延町 副町長(代理)



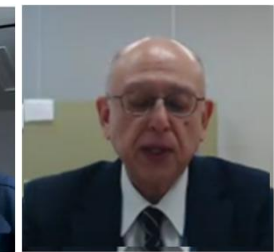
宗谷総合振興局長



留萌振興局
副局長(代理)



旭川地方気象台
次長(代理)



稚内地方気象台
防災管理官(代理)



留萌北部森林管理署長



宗谷森林管理署長



稚内地区消防事務組合
消防長



陸上自衛隊(留萌駐屯地)
第26普通科連隊 副連隊長(代理)



WEBを活用した協議会の様子



開会挨拶の様子
(留萌開発建設部長)



陸上自衛隊(名寄駐屯地)
第3即応機動連隊 火力調整幹部(代理)



北海道旅客鉄道株式会社
施設グループ グループリーダー(代理)

北海道警察旭川方面本部
警備課 課長補佐(代理)

北海道警察旭川方面天塩警察署
警備係 警備係主任(代理)



留萌開発建設部長

- 昨年は、豊富町や天塩町・幌延町で観測開始以来第1位となる大雨を記録し、浸水被害が発生した。また、道東では北海道で初めて線状降水帯が発生する等、異常気象の激甚化・頻発化が現れてきているため、留萌・宗谷管内においても、地域の安全・安心のために、取組状況の確認と共有、忌憚のない意見交換を行いたい。



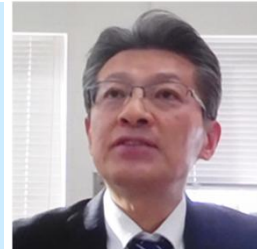
宗谷総合振興局長

- 今年度は、宗谷・留萌管内で発生した二度にわたる豪雨により、農地の大規模な冠水や、河川・道路にも大きな被害が及んだ。農地、草地は今も復旧の途上で、我々としても国や町と連携して対応している。
- 引き続き、流域治水の取組を計画的に推進していくため、関係者の皆様とこうした協議会を通して、治水対策や水防に関する対応などについて連携を図っていききたい。



天塩町 副町長

- 今年度はハザードマップやJアラートの受信機器の更新、防災訓練の継続実施、@InfoCanalを活用した迅速な情報発信の体制の強化などに取り組んでいる。今後も、マイタイムラインの普及、要配慮者支援体制の充実を図りながら、町民一人一人が適切な避難行動を取れる環境づくりを進めていきたい。
- 近年、宗谷地方南部を震源とする地震が発生しており、水害と地震が重なる複合災害への備えも現実的な課題であると認識している。天塩川下流の関係機関と連携をしながら、今後も取組を進めていきたい。



留萌振興局
副局長(代理)

- 昨年は、記録的な猛暑や道内で初めてとなる線状降水帯の発生、記録的な大雨など、気候変動が私たちの暮らしに大きな影響を与え、留萌管内においても、昨年8月中旬に、観測史上最大の大雨に見舞われ、被害が発生した。
- いつでも起こり得る想定外の大雨に対する対策として、ハード整備はもとより、ソフト対策について関係機関と調整を図り、様々な対策を講じていきたい。特に、天塩川支流の雄信内川やロクシナイ川では河道内の伐木や、二十三号川において河道掘削を引き続き実施し、減災対策を講じていきたい。



豊富町長

- 洪水被害の軽減を図る取組や情報伝達の多重化、防災訓練、防災講話、マイタイムライン教育など、昨年の教訓を反映し、住民一人一人の逃げ遅れゼロを目指していきたい。
- 昨年9月には2箇所でワンコイン浸水センサ設置が完了した。融雪時の河川増水や大雨時の迅速な浸水状況把握と、減災・防災対応の強化を図っていききたい。
- 天塩川流域の皆様とこれまで以上に強固に連携し、今できる最大限の減災対策をスピード感を持って推進していきたい。



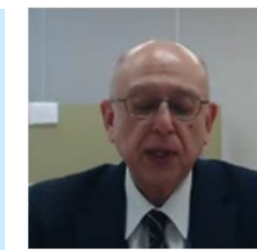
旭川地方気象台
次長(代理)

- 今年5月下旬より始まる新たな防災気象情報の運用では、4つの災害区分、河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮の情報名称に1から5までの警戒レベルの数字がつく形で整理されるため、対象となる災害と警戒レベルを示す数字を見れば、身に迫ってくる災害やその危険度が直感的に理解しやすくなる他、市町村が発令する避難情報と直接リンクしているため、地域住民の皆様が、これまで以上に避難等の行動の判断がしやすいようになる。
- 地域住民の皆様が1日でも早く御理解いただけるように普及啓発に努めていきたい。



幌延町 副町長

- 昨年8月の大雨は、幌延町では昭和56年以来の大雨災害だった。8月17日には、幌延町の市街を流れるパンケウブシ川が氾濫し、隣接している公営住宅や幌延の市街地が浸水した。26から27日にかけての大雨では、幌延河川事務所からお借りした排水ポンプ車により、市街の浸水被害が軽減した。
- 今後も、ゲリラ豪雨などが増えてくると思いますので、関係機関と密に連携しながら、適切な対応を取っていききたい。



稚内地方気象台
防災管理官(代理)

- 昨年8月の大雨では、豊富町や幌延町で土砂災害や浸水被害が発生し、9月には釧路地方と十勝地方で線状降水帯が発生して大雨となった。北海道で線状降水帯が発生したのは、線状降水帯の発生をお知らせする顕著な大雨に関する気象情報の運用を開始した令和3年6月以来、初めてとなる。
- 稚内気象台としても、より正確な情報を早めに発表するように心がけると同時に、防災に関して普及啓発に努めていきたい。



宗谷森林管理署長

- 水源涵養機能、水をゆっくり出して平準化させるような機能、土砂の流出防備機能、山腹の崩壊を防止する機能といったものが森林の公益的機能の中に含まれる。
- 森林は万が一失われてしまうと非常に長い年月をかけて再生させなければいけない。我々はこういう問題を踏まえた上で、しっかり森林の公益的機能を発揮させるために日頃から森林整備に取り組んでいる。このような取組を通じて流域の防災・減災、それから治水に役立てていきたい。



陸上自衛隊
(留萌駐屯地)
第26普通科連隊
副連隊長(代理)



陸上自衛隊
(名寄駐屯地)
第3即応機動連隊
火力調整幹部(代理)

- ファスト・フォースと呼ばれる即応部隊を日々設定し、いつでも派遣できるような準備をしている。
- 関係者皆様の連絡体制の確保・強化について、今後も十分に力となれるよう頑張っていきたい。



留萌北部森林管理署長

- 宗谷森林管理署と同じ考え方の下、同じ側面を重視しながら、引き続き、計画的・継続的に、森林整備をしっかりと進めていきたい。
- 治山治水といった面も捉まえながら、減災等に貢献できるよう取り組んでいきたい。また、関係機関との情報交換・情報共有を図りながら取り組んでいきたい。

北海道警察
旭川方面本部
警備課 課長補佐(代理)

北海道警察
旭川方面天塩警察署
警備係 警備係主任(代理)

- 平素から予防活動、啓発活動の実施、別主体協議会への参加を通して、皆様方と情報共有を図っている。
- また、署員に対する災害の教養や、関係機関の訓練等に参加している。
- 今後も共同訓練を実施することにより、対処能力の向上を図っていきたい。



稚内地区消防事務組合
消防長

- 今後も皆様の御協力を得ながら、当組合の消防署、消防団ともに、訓練、教育等と水防体制の強化に努めていきたい。



北海道旅客鉄道株式会社
施設グループ グループリーダー

- 駅待合室にハザードマップの掲示、災害に関する警備方法や各駅が位置するハザードマップの社内周知・教育を毎年行っている。
- 昨年8月には集中豪雨の影響で、特に宗谷線の災害に見舞われて、復旧に時間を要した。今後も、安全性向上に向けた取組を進めるとともに、安全投資と修繕を着実に実行して、安全基盤の再構築を一層推進していきたい。